

私たちの文化 私たちの誇り

虐待に言い訳は
できません。

この冊子では、家庭内暴力や虐待について説明しています。

家庭内暴力や虐待は、
どのような人であっても、
その出身や経歴に関係なく、
決して許されるもの
ではありません。

キアオラ





この冊子では、自分自身や家族、知人、自分のコミュニティなどの安全について心配があるときに役立つ情報をまとめています。

アオテアロア・ニュージーランドでは、自らの文化的アイデンティティーを育み、文化的な慣習を受け継いでいくことが大切にされています。しかし、たとえ誇りに思う文化であっても、それを家庭やコミュニティにおける暴力や虐待の言い訳や正当化に使うことは許されません。

この冊子では、家庭内暴力や虐待について説明しています。そして、私たち一人ひとりがコミュニティの中で虐待を止めるためにできることを紹介しています。

家庭内暴力や虐待は、誰にでも起こり得ます。それは、あらゆるコミュニティで起きており、あなたのコミュニティも例外ではありません。



家庭内暴力とは？

家庭内暴力とは、パートナーや家族など、親しい関係にある人に対して加えられる暴力のことです。

家庭内暴力は特定の性別に偏った暴力の一種であり、女性が被害を受ける可能性は男性の3倍にも上ります。性別や生い立ち、立場を問わず、誰でも家庭内暴力の被害に遭う可能性があります。誰もが、自分の辛い経験を否定されることなく受けとめてもらい、尊厳ある支援を受ける権利があります。

民族コミュニティにおける家庭内暴力の例には以下のものがあります。

親密な関係における暴力や虐待	持参金(ダウリー)に関する虐待
児童虐待やネグレクト	いわゆる「名誉のための暴力」
高齢者の虐待やネグレクト	女性器切除
交際相手からの暴力	同性愛者／トランスジェンダーへの差別や虐待
ストーカー行為	いじめや嫌がらせ
強制結婚	移民制度を悪用した虐待
未成年の結婚	紛争後の家庭内暴力
その他の家族関係における暴力(例:子どもや若者から親・祖父母への暴力、義理の家族からの虐待)	国際結婚における遺棄や虐待

- 怒った表情で相手を脅すこと
- 冷たく無反応な態度を取ること
- 相手が大切にしている物を壊したり奪ったりすること
- 身体的・性的・心理的な危害を加えると言って相手を脅すこと
- 相手の家族や友人に対して侮辱や暴力を振るうこと

- 相手が別れようとしたときに子どもを奪うと脅すこと
- 金銭、ビザ、不動産の見返りとして子どもに婚約や結婚をさせること
- 未成年の子どもを海外で結婚させること
- 男児を女兒より価値ある存在として扱うこと
- 子どもを利用して相手にメッセージを送ること
- 子どもを相手から引き離すこと
- 家族の借金を返すために子どもを結婚させること

- 自分は価値がなく、役立たずだと相手に思わせること
- 相手を侮辱したり、身体的特徴をけなしたりすること
- 相手が浮気をしていると決めつけること
- 自分の虐待的な行動について、相手に罪悪感を抱かせること
- 「西洋の女性のような振る舞いしている」と言って相手を非難すること
- 相手を奴隷や家政婦のように扱うこと
- 「頭がおかしい」、「誰にも必要とされていない」と言って相手を傷つけること
- 身体的・性的な暴行
- 中絶を強制すること
- 義理の家族からの虐待
- 首を絞めようとする行為
- 結婚生活における性的暴力(配偶者強姦)

- ビザのスポンサーを取り下げると脅すこと
- 相手を強制送還させると脅すこと
- 相手にポルノを含む違法行為をさせること
- 相手と別れる、または危害を加えると脅すこと
- 相手の家族に危害を加えると脅すこと
- 「家族の名誉を傷つけた」として相手を殺すと脅すこと

移民・難民コミュニティ
における
権力と
支配

威圧を
利用すること

子どもを利用
すること

感情的・身体的・
性的虐待

脅しや強要

事実の矮小化、
否定、および
責任転嫁

男性としての
特権を利用す
ること

地理的な
孤立を利用
すること

経済的虐待

- 虐待はなかった、あるいは大したことはないと言うこと
- 自分が怒って暴力を振るったのは相手のせいだと責めること
- 相手が助けを求めたり、別れようとする決断をするのは「西洋の制度」のせいだと非難すること
- 相手は「頭がおかしい」、「感情的すぎる」と言って貶めること
- 相手は「うつ状態だ」、「自殺願望がある」と言いふらすこと

- 相手を召使いのように扱い、すべての家事を押しつけること
- 相手の好きな食べ物や服を与えないこと
- 文化や伝統を口実にして相手を虐待し、支配すること
- 男性としての立場を利用し、自分には相手を支配する権利があると主張すること
- 相手や家族のために何が一番良いか分かっているのは自分だと言い、相手と話し合わずに勝手に決めること
- 家庭内のすべての決定を自分だけで行い、相手の権利や自主性を否定すること

- 相手の行動や交友関係を管理すること
- 相手が個性や意見、信念を表明することを認めないこと
- 相手が家族と話すことを禁止したり、家族との通話や面会を監視すること
- 相手のメッセージやメールを読む、あるいは通信を妨げること
- 家の内外に監視カメラを設置し、相手の動きを追跡すること
- 相手に友人を持たせないこと
- 相手に運転をさせない、または運転を学ばせないことにより、自分がいなければ相手がどこにも行けないようにすること

- 結婚やビザ取得のために持参金を要求すること
- 相手に仕事をさせない、または相手の稼ぎを取り上げること
- 相手に家族の銀行口座にアクセスさせないこと
- 相手に働かせて得たお金を全額自分に渡すよう要求すること
- 自分の許可なしに相手にお金を使わせないこと
- お金の使い道について詳細を相手に報告させること

人間関係における健全・不健全・虐待的な行動

	健全な行動	不健全な行動	虐待的な行動
心理的側面	オープンなコミュニケーション、交渉と公平性、信頼と支え合い、正直さと説明責任、性別や性的アイデンティティ、心身の健康を尊重することなど	相手の意見を価値のあるものと見なささない、相手の話を聞かない、口論などでは問題について話し合おうとしないなど	脅し、罵倒、嫉妬、見下し、物を壊す、ストーカ行爲、相手の行動・発言・人間関係・服装をコントロールすること、性的な指向やアイデンティティを侮辱・否定すること、カミングアウトを強制すると脅すこと、強制的なコンバージョンセラピー（転向療法）など
身体的側面	脅しのないふるまいや、安心して自分を表現できること、相手の積極的かつ十分な理解に基づく同意を得ようとする事、など	相手を配慮しない、積極的な同意を求めない、罪悪感を利用して相手に望まないことをさせようとする事など	殴る、蹴る、噛む、押す、首を絞める、武器を使う、酸をかける、相手を拘束するなど
性的側面			レイプやいかなる強制的な性行爲、婚姻関係における強制性交、望まない接触、16歳未満とのあらゆる性行爲など

	健全な行動	不健全な行動	虐待的な行動
経済的側面	経済的パートナーシップ、金銭面の決定を共に行うこと、両者が金銭的取り決めの恩恵を受けることなど	お金に関する話し合いをしない、どちらか一方による金銭の管理を当然のこととするなど	相手のお金を奪う、相手名義で借金を作る、すべてのレシートを確認する、公的書類に署名させるよう圧力をかける、ビザ支援を取り下げると脅すなど
精神的 (スピリチュアル) 側面	宗教的自由を表現できること、文化的・精神的・宗教的アイデンティティーに自信と安心感を持てることなど	文化的・精神的信仰を軽視すること、信仰や実践を侮辱すること、決めつけやステレオタイプ、聖典などを使って相手に望まない行動を強制することなど	他人が自分の宗教的・精神的信仰を表現するのを妨げること、または教会・寺院・モスクなどへの参加を強制することなど
ネグレクト(放置)	心身の健康のニーズに対する認識・配慮・対応、責任の共有、責任ある育児など	特別な扱いを当然と考えること、相手に達成不可能な期待を抱くこと、相手の心身の健康のニーズを思いやらないこと、家庭内で家族・子ども・高齢者を支援しないことなど	食事、薬、住居、暖房、衣類を与えないこと(特に高齢者や障がいのある人に対して)、子どもを一人で家に置き去りにすること、医療や福祉サービスを受けさせないこと など

ア オ テ ア ロ ア ・ ニュージーランドでは、 家庭内暴力は犯罪です。

2018年家庭内暴力法 (Family Violence Act 2018) では、家庭内暴力が必ずしも身体的なものであるとは限らず、強要や支配的な行動も含まれることが認められています。また、一定期間にわたって繰り返される虐待的な言動のパターンや、単発の虐待行為も家庭内暴力に含まれます。

ニュージーランドの法律で認められているその他の虐待や暴力とされる行為には、以下のようなものがあります。

児童虐待

- 子どもに家庭内暴力を見せたり聞かせたりすることは、心理的虐待とみなされます。これは子どもの発達や心身の健康に悪影響を及ぼす可能性があるためです。子どもが暴力を目撃してしまうことは、被害を受けている親の責任ではありません。
- 子どもを叩く・殴ること、感情的な虐待、ネグレクト、16歳未満の子どもとの性的接触はすべて法律で禁止されています。

未成年者および強制結婚

- 16歳未満での結婚は違法です。宗教的または文化的な形式による結婚を含め、誰かに結婚を強制することも違法です。
- 現在の法律のもとでは、結婚式やシビルユニオンの儀式をバーチャルな形態で行うことは認められていません。つまり、オンラインや電話による結婚は、ニュージーランド国内では法的に認められません。

子どもたちもまた、家庭内暴力や虐待の被害者です。その暴力が子ども自身に向けられていなくても、被害を受けます。



持参金(ダウリー)に関する虐待

- 持参金に関連する暴力は、2018年家庭内暴力法のもとで違法であり、ニュージーランドでは許されません。

女性器切除

- ニュージーランド国内で女性器切除を行うこと、またはそれを目的として少女を国外に連れ出す手配をすることは、いずれも犯罪です。

コンバージョンセラピー(性的指向の転向療法)

以下のいずれかに該当する場合、コンバージョンセラピーを行うことは違法です。

- 18歳未満の人、または判断力が十分でない人に対して行う場合
- 年齢にかかわらず、その人に重大な害を及ぼす場合

法律は、文化やコミュニティーを問わず、あらゆる人間関係にある人々を保護しています。対象には、夫婦、シビルユニオンのカップル、同性カップル、元パートナー、恋人同士、子どもや若者、フラットメイトやその他の同居人などが含まれます。

警察やその他の関係機関は、家庭内暴力を深刻に受け止めています。文化的背景や使用言語にかかわらず、助けてくれる人たちがいます。あなたの言語を話す通訳を手配してもらうことも可能です。助けを求めるのに、家族から離れる必要はありません。

どの国の出身であろうとも、
私たちはお互いを大切に
合うべきです。



**私たちの文化は、
私たちの誇りであり、
アイデンティティー
の源です。しかし、
虐待を正当化する
理由にはなりません。**



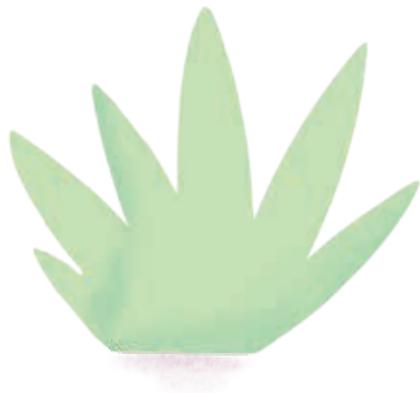
以下は、暴力を言い訳したり正当化するために使われる言葉の一例であり、それによって被害者がさらに虐待的な状況に閉じ込められてしまうことがあります。

- あなたは家族に恥をかかせた
- あなたは家の名誉を汚した
- 若者は年長者に従うべきだ
- あなたはニュージーランド人のようになりすぎた。昔からのやり方を尊重すべきだ
- これが私たちのやり方だ
- 私たちの文化では、すべての女性・男性・子どもがこうしなければならない

家庭内暴力を行う人々は、どこであろうと、文化を理由にそれを正当化する方法を見出してきました。しかし、どのコミュニティや文化圏であっても、家庭内暴力は決して許されるものではありません。

あなたにできること

すべての家庭が安全で幸せに過ごせることが大切です。



もしあなたが虐待にさらされて暮らしているなら、以下のことを認識することが大切です。

- それはあなたのせいではありません。自分を恥じたり、責めたりする必要はありません。
- あなたとご家族が安心して過ごせるように、利用できる支援があります。
- 信頼できる人—友人、家族、同僚、教師、介護士、雇用主、医療従事者、または家庭内暴力支援サービスの人などに話してみましよう。
- 支援は無料で、秘密も守られます。匿名で電話相談や支援窓口を利用することも可能です。女性の医師や警察官に相談できるよう依頼することもできます。
- 助けを求めるのは悪いことではありません。



もしあなた自身や知り合いが危険な状況にある場合は、たとえ緊急かどうか確信がなくても、**111**に電話して警察に連絡してください。



自分の尊厳や、自分らしく
生きる自由を、誰にも奪わ
せないでください。

あなたが暴力をふるっている場合

虐待的な行動は他人を傷つけるだけでなく、あなた自身も傷つけます。

暴力は「選択」です。他人を傷つけずに自分の感情を表現し、コントロールする方法は、誰でも学ぶことができます。

暴力をふるっている場合でも、あなた自身とその行動は別ものだということを忘れないでください。暴力や虐待をやめたいと願う人には、誰にでも変わることは可能です。

誰かを助けたいと 思っている方へ

もし知っている人が家庭内暴力や虐待を受けているなら、その人が支援を受けられるよう手助けできます。



あなたにできること

- 話を信じ、思いやりを持って対応する
- その人の行動を尊重し、意思決定を支援する
- 「家庭内での暴力は許されないこと、だから助けを求めていい」と伝える
- 虐待を受けている兆候がある子どもに注意を払う
- 利用できる支援サービスについて話し、一緒に助けを探す
- 継続的な会話の機会を持ち、つながりを保つ



16ページに、利用できる支援窓口の情報が 있습니다。



状況は、きっと
良くなって
いきます。

日常的に暴力を経験している人に必要なサポートは、その人の心の準備ができたときに、自ら決断できるように支えることです。その人のペースを大切にすることが重要です。変化には時間がかかることもあります。どうかあきらめないでください。

あなたの行動や言葉が、変化を
もたらします。
私たちは力を合わせれば、強く
安全なコミュニティーであり
続けることができます。

コミュニティに変化を望むあなたへ

家庭内暴力や虐待をなくすためには、コミュニティ全体で取り組む必要があります。そのためには、まず「それについて話してもよい」とすることが重要です。



コミュニティで変化を起こすためにできること

- 家庭内暴力と虐待を容認しない姿勢を示す
- 健全な人間関係と行動の変化に関する教育を提供する
- 被害者が安心して過ごせる場所（セーフスペース）をつくる
- 暴力をふるっている人に対して責任を問うと同時に、行動を変えるための支援を行う
- 地域の家庭内暴力防止団体を支援・推進する
- 日々のやりとりの中で、有害な性別規範やステレオタイプに異議を唱える
- 男性が家庭内暴力・虐待に反対の立場をとることを支援する
- もっとも周縁化され、支援が届きにくい人々（女性、子ども、若者、レインボーコミュニティの人々、障がい者や高齢者、英語を話さない人々、地方や孤立した地域の住民など）のニーズを考慮し対応する

お互いを尊重し合
いましょう。特に家庭の
中ではなおさらです。



あらゆる文化のコミュニティー
や信仰のリーダーが、変化の
先頭に立つ必要があります。

それぞれのコミュニティーには、
そのコミュニティーに適した、
有効なやり方があります。

ニュージーランドの全国の町、
地域、職場、学校、宗教団体や
スポーツクラブなど、さまざまな
場所で、家庭内暴力の防止と
安全で健全な家族づくりの
ために取り組んでいます。

連絡先とさらに詳しい情報

支援やアドバイスが必要な場合、または誰かと話したいときは、次の機関にご連絡ください。



警察

- 緊急時は「111」に電話する
- 通話は無料です

声が出せない状況でも、緊急支援が必要な場合は「55」を押すように指示されます。



シャクティ (Shakti)

- 0800 742 584
- 0800 SHAKTI
- 無料・24時間対応の緊急ダイヤル

アジア系、アフリカ系、中東系出身の女性、子ども、若者、家族のための支援サービス



WOMEN'S REFUGE

ウィメンズ・レフュージ (Women's Refuge)

- 0800 733 843
- 0800 REFUGE
- 無料・24時間対応の緊急ダイヤル

家庭内暴力に関する情報、アドバイス、サポート、および緊急時の支援を提供地域的女性保護施設(レフュージ)への紹介も可能

支援やアドバイスを求めたいとき、誰かと話したいときは以下に連絡してください

family violence

it's not ok

アー・ユー・オーケー？ (Are You OK?)

- 0800 456 450
- 無料の家庭内暴力情報ダイヤル
- areyouok.org.nz

危険な関係性に関する情報、ご自身が利用できる支援、そして他者を支援する方法についてご案内します。若者、レインボーコミュニティ、障がい者や高齢者を支援するサービスについては、インターネットで検索してください。

In Your Hands

Change Starts Here.
For you and your whānau.

イン・ユア・ハンズ (In Your Hands)

- inyourhands.org.nz
- 無料・24時間対応の電話相談
およびオンラインチャット

暴力をふるってしまう人で、自分の行動を変えたいと願う人のための情報と支援があります。



ブライト・スカイ (Bright Sky) アプリ

ダウンロードするにはQRコードをスキャンしてください。





Print ISBN: 978-1-99-110530-1

Digital ISBN: 978-1-99-110531-8

本冊子は、アオテアロア・ニューージーランドにおいて民族コミュニティが直面している特有の課題に焦点を当て、シャクティと社会開発省 (Ministry of Social Development、またはMSD) によって初版が作成されました。シャクティは、1995年に設立された家庭内暴力支援団体で、アジア系、アフリカ系、中東系のコミュニティと共に活動しています。文化的背景に配慮した家庭内暴力支援を提供し、民族的な女性や子どもたちの権利を擁護しています。

本冊子は、社会開発省、シャクティ、そしてテ・プナ・アオヌイ (Te Puna Aonui) の民族コミュニティ・ネットワーク (ニューージーランドの民族コミュニティを支援する多様な団体が構成する枠組み) によって更新されています。